

平成21年4月の結果 (二人以上の世帯)

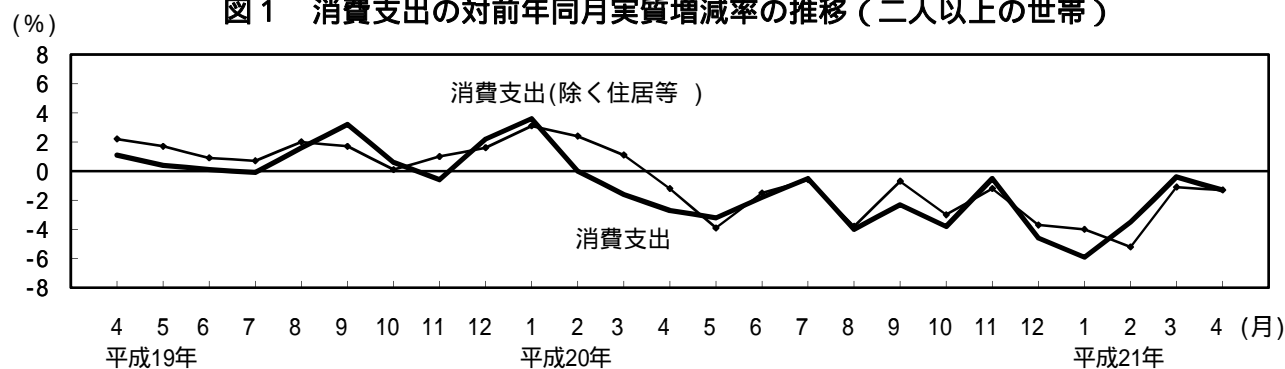
二人以上の世帯

消費支出は、1世帯当たり 306,340 円
 前年同月比 実質 1.3%の減少 前月比(季節調整値) 実質 0.9%の減少
 消費支出(除く住居等)は、
 前年同月比 実質 1.3%の減少 前月比(季節調整値) 実質 0.7%の減少
 うち勤労者世帯の実収入は、
 前年同月比 実質 1.0%の増加

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

1 消費支出の推移

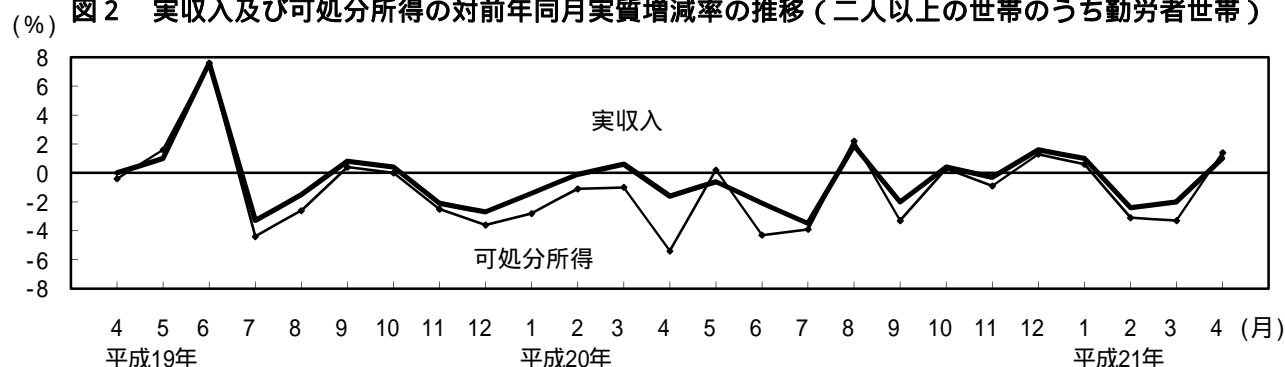
図1 消費支出の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯)



	平成20年										平成21年			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		1月	2月	3月	4月
消費支出	-2.7	-3.2	-1.8	-0.5	-4.0	-2.3	-3.8	-0.5	-4.6		-5.9	-3.5	-0.4	-1.3
消費支出(除く住居等)	-1.2	-3.9	-1.5	-0.6	-3.8	-0.7	-3.0	-1.2	-3.7		-4.0	-5.2	-1.1	-1.3

2 勤労者世帯の収入の推移

図2 実収入及び可処分所得の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



	平成20年										平成21年			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		1月	2月	3月	4月
実収入	-1.6	-0.6	-2.1	-3.5	1.9	-2.0	0.4	-0.3	1.6		1.0	-2.4	-2.0	1.0
可処分所得	-5.4	0.2	-4.3	-3.9	2.2	-3.3	0.3	-0.9	1.3		0.6	-3.1	-3.3	1.4
消費支出	-0.6	-0.9	0.3	-0.1	-3.1	-3.4	-6.0	1.2	-4.1		-5.7	-1.0	0.7	0.4
平均消費性向	4.4	-1.0	2.4	2.6	-4.4	-0.1	-5.2	1.8	-2.5		-5.8	1.6	3.7	-1.0

*：対前年同月ポイント差

3 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（平成21年4月 - 二人以上の世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減率への寄与度(%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	306,340	-1.4	-1.3	-1.3		14か月連続の実質減少
食 料	65,975	-0.6	-2.2	-0.46	<減 少> 野菜・海藻,魚介類など	5 か月連続の実質減少
住 居	17,414	7.2	7.0	0.36	<増 加> 家賃地代,設備修繕・維持	3 か月連続の実質増加
光 熱 ・ 水 道	24,088	1.3	1.1	0.09	<増 加> 電気代	13か月ぶりの実質増加
家具・家事用品	8,991	1.8	2.7	0.08	<増 加> 家事雑貨,寝具類など	2 か月連続の実質増加
被 服 及 び 履 物	12,533	-1.9	-1.6	-0.07	<減 少> 洋服,被服関連サービスなど	5 か月連続の実質減少
保 健 医 療	11,564	-7.1	-6.8	-0.27	<減 少> 保健医療サービス,保健医療用品・器具	2 か月ぶりの実質減少
交 通 ・ 通 信	36,838	-9.4	-7.6	-0.98	<減 少> 自動車等関係費,交通	3 か月ぶりの実質減少
教 育	26,414	8.4	7.5	0.59	<増 加> 授業料等,補習教育	3 か月連続の実質増加
教 養 娛 楽	32,389	-2.5	-0.3	-0.03	<減 少> 教養娯楽サービス,書籍・他の印刷物	2 か月ぶりの実質減少
その他の消費支出	70,134	-2.6	(-2.5)	(-0.58)	<減 少> こづかい,交際費など	13か月連続の減少

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

< 減少項目 >

実質寄与度

自動車等関係費	[-0.77]	ガソリン,自動車購入
保健医療サービス	[-0.34]	医科診療代,他の入院料 ^{*1}
交通	[-0.26]	航空運賃,鉄道運賃
教養娯楽サービス	[-0.20]	外国パック旅行費,宿泊料
交際費	[-0.14]	贈与金

< 増加項目 >

授業料等	[0.55]	私立大学,私立高校
家賃地代	[0.19]	公営家賃,民営家賃
設備修繕・維持	[0.18]	設備器具,修繕材料
電気代	[0.18]	
教養娯楽用耐久財	[0.18]	パーソナルコンピュータ
教養娯楽用品	[0.14]	他の愛がん動物・同用品 ^{*2}

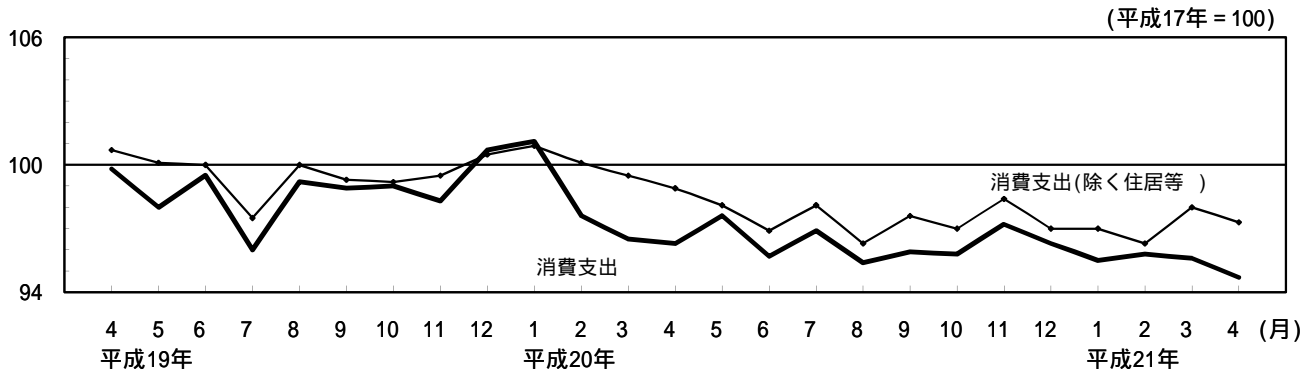
注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

*1 「他の入院料」とは、「出産入院料」以外の入院料をいう。

*2 「他の愛がん動物・同用品」とは、「ペットフード」及び「動物病院代」に分類されない愛がん動物並びにそれらに関する用具及びサービスをいう。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移（二人以上の世帯）



	平成20年										平成21年			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		1月	2月	3月	4月
消費支出	96.3	97.6	95.7	96.9	95.4	95.9	95.8	97.2	96.3		95.5	95.8	95.6	94.7
対前月変化率(%)	-0.2	1.3	-1.9	1.3	-1.5	0.5	-0.1	1.5	-0.9		-0.8	0.3	-0.2	-0.9
消費支出(除く住居等)	98.9	98.1	96.9	98.1	96.3	97.6	97.0	98.4	97.0		97.0	96.3	98.0	97.3
対前月変化率(%)	-0.6	-0.8	-1.2	1.2	-1.8	1.3	-0.6	1.4	-1.4		0.0	-0.7	1.8	-0.7

注 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMA)を用いた。

4 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（平成21年4月 - 二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減率への寄与度(%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	473,779	0.9	1.0	1.0	3か月ぶりの実質増加
世 帯 主 収 入	362,897	-1.6	-1.5	-1.16	4か月連続の実質減少
定 期 収 入	357,328	-0.6	-0.5	-0.38	4か月連続の実質減少
配 偶 者 の 収 入	51,390	17.3	17.4	1.62	11か月連続の実質増加
う ち 女 性	51,233	17.6	17.7	1.64	11か月連続の実質増加
他の世帯員収入	8,002	-23.0	-22.9	-0.51	3か月連続の実質減少
非 消 費 支 出	87,335	-1.2	-	-	11か月ぶりの減少
可 処 分 所 得	386,444	1.3	1.4	-	3か月ぶりの実質増加
消 費 支 出	344,514	0.3	0.4	-	2か月連続の実質増加
平均消費性向(%)	89.1	(前年同月) (ポイント差)			季節調整値でみると、75.8%で、前月に比べ、0.3ポイントの上昇となった。
		90.1	-1.0		